



みんなが**笑顔**になれる**蕨**のまちづくり



3つの重点方向に基づき平成27年度の予算を編成



平成27年第1回蕨市議会定例会 施政方針表明全文

平成27年第1回蕨市議会定例会が2月24日から3月23日まで開かれました。今議会は市が1年間の行政を進めるための予算を審議する議会でもあります。増刊号では議会初日^{よりたかひでお}に頼高英雄蕨市長が述べた、今年度の施政方針の全文をご紹介します。

蕨の限りない発展に向けて 全力で市政を運営

本日ここに、平成27年第1回蕨市議会定例会を招集申し上げますところ、議員各位には公私ともたいへんお忙しいなかご参集を賜り、厚くお礼を申し上げます。

今定例会は、平成27年度の当初予算をはじめとする重要な案件をご審議いただくこととなりますが、この際、私が、これからの市政に臨む基本的な考え方や新年度予算の編成方針、更には、予算の概要と主な事業について申し上げ、議員各位並びに市民の皆さんのご理解とご協力をお願いする所でございます。

今年には戦後70年、被爆70年と

ビジョンを推進し日本一住みやすいまちに

いう大きな節目の年であり、蕨市にとつては、平和都市宣言30周年の年でもあります。世界では今なお紛争が絶えず、テロの増大など平和を脅かす新たな脅威も広がっています。蕨市平和都市宣言では、「平和で豊かな社会を次の世代に引き継いでいくことが現代に生きる我々の責務」であり、「私たち蕨市民は、平和憲法の精神を守る立場から、世界のあらゆる国の核兵器の速やかな廃絶を願うものであります」とうたわれています。私は、こうした時代だからこそ、蕨市平和都市宣言の意義はますます重要であると考えており、



議会初日に施政方針表明をする頼高英雄蕨市長

今後とも平和宣言都市の市長として、市民の皆さんとともに、平和で豊かな未来の実現に向けて積極的な役割を果たしていく決意であります。

さて、私が蕨の第6代市長に就任してから、まもなく2期8年が経過しようとしています。この間、平成19年6月市議会での市長就任挨拶で申し上げたとおり、「ただひたすら、7万市民の幸せのために、私の持てる力のすべてを出し尽くす」、その立場を貫き、市政運営に当たってまいりました。

あらためて、この2期8年を振り返ったときに、私は、大きくいって、3つの点で貴重な成果を上げることができたと考えています。

マニフェストの実現で、 住みよいまちづくりが

大きく前進

第1は、防災や介護、子育て支援、教育、財政健全化など、市民の皆さんにお約束した公約、マニフェストを着実に推進し、住みよいまちづくりを大きく前進させることができた点です。

例えば、1期目では、県南では、初めてとなる中学卒業までの医療費無料化や市民から切実な要望が寄せられていた蕨駅のエレベーター設置、市立病院の



平成27年第1回萩市議会定例会初日(2月24日)

黒字化を、2期目では、立ち遅れた状況にあった小・中学校の耐震化の完了や県内でも進んだ取り組みとなった全ての普通教室へのエアコン整備、困難であった土地の確保について民間企業の協力を得るという独自の手法で実現した市内3か所目の特別養護老人ホーム、5園から10園と大幅な増設となる認可保育園、市の借金をこの8年間で363億円から315億円へ48億円削減できる見通しとなった市政の健全化、などであります。

同時に、約束したことを誠実に実行することで、市民の皆さんの行政に対する信頼を高めることができたと考えています。

なお、2期目のマニフェストについては、41の施策がありますが、昨年7月時点で、実施済みが27、一部実施及び着手が14で、合わせて100%にまで前進させることができました。

市政改革の前進

第2は、市長就任時にお約束した市政の改革を着実に進めることができた点です。市政の改革には、すぐに行えるものばかりではなく、時間がかかるものも多々ありますが、前市政の最大の課題の一つであった土地開発公社の長期債務問題では、一昨年、第3次経営健全化計画も

策定し、厳しい財政状況のなかでも、計画的に健全化を進め、市長就任時には77億円あった債務残高は、27年度末には、半分以上39億4000万円にまで削減できる見通しとなりました。

また、当初、市の負担が8億円程度想定され、事業完了の見通しが立たなかった中央第一土地区画整理事業についても、権利者の皆さんとの話し合いや県との協議を重ね、25年度には、区画整理事業の廃止と地区計画による新たなまちづくりに向けて、26年度から、中央第一地区の新たなまちづくりをスタートさせることができました。

市民との対話、触れ合い、協働の前進

第3は、市長タウンミーティングやイベントへの参加などを通じて市民の皆さんとの直接の対話、触れ合いを広げるとともに、わらびネットワークステーションの開設やみんなで創るわらび推進条例の制定、協働事業提案制度の創設など、市民の皆さんとの協働によるまちづくりを前進させることができた点です。

そうしたなかで、市民の皆さんのまちへの愛着が年々上昇し、昨年は72・4%になったことはたいへんすばらしいことである

と考えています。

いま国においては「地方創生」がうたわれていますが、地方の発展なくして日本の発展がないことは明らかです。そして、少子高齢化、人口減少社会が進行し、地域の活性化や地域コミュニティの重要性が指摘されるなか、歴史・文化、コミュニティの豊かさや利便性の高さを併せ持つコンパクトシティの強みが生きる時代となっています。

萩では、昨年、新たな10年間の最上位計画である「コンパクトシティ萩」将来ビジョンがスタートしました。これは、これまで進めてきた、市民の暮らしを支える「あつたか市政」の成果の上に立って、住みやすさの基本となる「安全安心」、まちの魅力や成長につながる「にぎわい」、そして、住みやすさそのものに直結する「みんなにわたかく、だれもが住みやすいまち」、この3つを兼ね備え、日本一コンパクトな市にたくさんの魅力が詰まった、日本一住みやすいまちを目指すものであります。

今年は、将来ビジョンの重点プロジェクトで掲げた施策をはじめ、まちの将来像「安心とにぎわい みんなにわたたかい日本一コンパクトシティ萩」に向けて、大きく前進させる年にしていく決意であります。

3つの重点方向で進める27年度の市政運営

さて、こうした決意に基づき、平成27年度の市政運営については、次の3つの重点方向で進めてまいります。

第1は、将来ビジョンで掲げる、安全安心、にぎわい、みんなにわたるまち、この3つをキーワードに、事業を重点的に推進すること、第2は、将来にわたり持続可能な都市・蔵に向けて、引き続き、財政健全化を含めて、行財政の改革を進めていくこと、第3は、蔵の強みを生かした協働のまちづくりを更に前進させること、です。

重点方向1 将来ビジョンの実現

それでは、第1の重点方向である、将来ビジョンの実現に向け、3つのキーワードに基づく重点事業について申し上げます。

◇安全で安心できるまち

「安全で安心できるまち」では、行政としての災害への備えである公助とともに、自分の命は自分で守る自助、地域の助け合いの力である共助、それぞれが充実し、その連携を図ることによって災害に強いまちづくりを実現

する「自助・共助・公助の連携による防災都市づくり」を推進することであります。

自助を支援する施策として、

26年度の住宅耐震診断補助の拡充に続き、新たに家具転倒防止器具設置に対する補助制度を創設するとともに、現在、策定を進めている避難行動要支援者支援制度の全体計画に基づき、27年度には、町会の皆さんとの連携の下、障害のあるかたがたなど、災害時に避難が困難なかたがたへの支援計画を策定するなど、地域での助け合い、共助の取り組みを広げてまいります。行政としての公助の取り組みとしては、最重要課題である公



地域一体となり進める防災都市づくり(HUG訓練)

共施設の耐震化について、小・中学校、保育園が完了したことを踏まえて、公民館、市民体育館、更には市民会館の耐震化を進めてまいります。

◇にぎわいあふれる

元気なまち

「にぎわいあふれる元気なまち」では、全国のモデルとなるようなコンパクトシティでの中心市街地の活性化や駅前を中心とするにぎわいの拠点づくり、地域資源を活かしたまちの活性化、この3つの方向で取り組みを前進させます。

中心市街地活性化基本計画については、26年度中に国の認定を受け、27年度からは、商工会議所並びに中心市街地整備推進機構に指定した蔵市にぎわいまちづくり連合会と連携し、計画を本格的に推進いたします。

昨年12月に準備組合が設立された蔵駅西口地区市街地再開発については、市の負担を抑制しつつ、蔵の玄関口にふさわしい魅力的な計画づくりに向けて組合を支援してまいります。

更には、双子織やわらびりんごなど、地域資源を活かした蔵ブランドの育成を図り、蔵が、未来に向けて、にぎわいあふれる魅力的なまちとして成長できるよう、取り組んでまいります。

◇みんなにわたるかく だれもが住みやすいまち

「みんなにわたるかくだれもが住みやすいまち」は、住みやすさそのものに直結する課題であります。とりわけ、いま日本が直面する重要課題である子育てと介護、暮らしの支援、この3つの分野で、施策の拡充を図ります。

子育て支援については、待機児童の解消に向けて、27年度に新たに3つの認可保育園を増設するとともに、留守家庭児童指導室について、学校内に2つの施設を増設し、対象学年を6年生まで拡大いたします。このことにより、市長就任以来、認可保育園は、5園から10園に、定員は600名から988名へ約1.6倍に、蔵の留守家庭児童指導室は7施設から11施設へ増えることとなり、子育て支援が大幅に前進することとなります。

介護については、4月に特別養護老人ホーム「いきいきタウン蔵」が開設しますが、そこに地域包括支援センターを併設し、介護予防や相談体制を拡充するとともに、認知症地域支援員の配置など、誰もが住み慣れた地域で安心して住み続けられる地域包括ケアシステムの構築に向けた取り組みを進めてまいります。



子どもたちが健やかに育つ環境を整備します

また、景気の回復が家庭や地方にまで行き渡っていないなか、昨年4月の消費税率引き上げや急激な円安等による物価の上昇、実質賃金の減少などにより、市民の暮らしは依然として厳しい状況にあることから、新たに、生活困窮家庭に対する家計相談や子ども学習支援などを行う生活困窮者自立支援事業を行うとともに、国民健康保険税の軽減措置を拡充するなど、市民の暮らしを守る施策を前進させてまいります。

重点方向2 持続可能な都市・

蔵に向けた

行政改革の推進

第2の重点方向である、持続可能な都市・蔵に向けた行政改革につきましては、平成21年



買い戻しを進める土地開発公社の土地(中央3丁目)

度から進めてきた「わらび地域力発揮プラン」が26年度末に終了しますが、その進捗状況は、実施済みと一部実施を合わせて95%、その効果額は約20億8500万円の見込みとなりました。現行計画に代わる新たな計画として、今月、将来ビジョン推進プランを策定しましたが、これは、第6次行政改革大綱としても位置付けるものであり、その着実な推進を図ってまいります。

土地開発公社の経営健全化については、第3次経営健全化計画に基づき、26年度補正予算では、くるる隣の課金式駐輪場として使用している土地、約383平方メートルを約3億7000万円で、27年度当初予算では、中央3丁目の商店街駐車場として活用している土地、約438平方メートル

約8億3400万円で、それぞれ買い戻しを行います。

公共施設のファシリティマネジメントでは、蔵の公共施設を将来にわたり適切に維持管理していくため、27年度には、一般財団法人地方自治研究機構との共同研究として、公共施設等マネジメント白書を作成してまいります。

重点方向3 協働のまちづくりの前進

第3の重点方向である協働のまちづくりの前進では、市民の皆さんとの協働を更に推進するとともに、まちづくりのさまざまな分野での民間団体との協定締結など、オール蔵でのまちづくりを前進させることです。

協働事業の推進では、協働事業提案制度で採択された4つの事業を支援するとともに、協働月間を設定し、キャッチフレーズやシンボルマークを策定するなど、更なる協働の推進に向けた環境整備を図ってまいります。また、この間、静岡県湖西市（おとろ）や栃木県大田原市との災害協定のほか、本年2月には、新たに、生活協同組合コープみらいと見守りネットワーク活動の協定を締結し、3月には、株式会社イトーヨーカ堂と災害時の食料の確保や生活必需品の提供に関する

る協定の締結を予定しています。が、災害や見守り活動をはじめ、まちづくりのさまざまな分野で、

6つの基本目標に沿った事業を着実に展開

さて、こうした市政運営の基本的な考え方と3つの重点方向に基づいて編成しました平成27年度蔵市一般会計予算の概要は、子ども子育て支援新制度の本格実施をはじめ、生活困窮者自立支援制度の施行や低所得者・子育て世帯への「臨時福祉給付金」並びに「子育て世帯臨時特例給付金」の継続、土地開発公社経営健全化の事業費増などにより、前年度比7億4000万円の増、34%の伸びとなる22億6400万円となりました。

特別会計では、6つの会計の総額が174億3400万円、病院・水道の企業会計合計額は44億3604万8000円で、以上の全会計を合わせた蔵市全体の予算規模は、445億1004万8000円となりました。また、経済対策が盛り込まれた国の補正予算が2月3日に成立し、消費喚起や生活支援を目的とした地方自治体向けの交付金や地方創生を支援する交付金等新設され、現在予算の調製を別途、進めているところです。

民間団体との協定を締結するなど、官民連携によるまちづくりを更に推進してまいります。

具体的には、消費喚起では、プレミアム付き商品券を発行していくほか、地方創生では、蔵市の特徴を生かした自律的で持続的な社会を創生できるよう「地方版総合戦略」の策定経費や少子化対策などの予算を計上する予定です。予算案がまとまりしだい、今議会に追加提案してまいりたいと考えております。

家庭での家具転倒防止の促進に向けて、高齢者や障害者世帯を対象に1世帯1万円を限度とする補助制度を創設します。なお、取り付け作業は市内業者にお願いしていく予定です。



東公民館(写真)と南公民館の耐震補強工事を実施

安全で安心して暮らせるまち

暮らせるまち

1点目の「安全で安心して暮らせるまち」では、東公民館と南公民館の2館で耐震補強工事を進めるほか、市民体育館、北町公民館、北町児童館の複合施設については、26年度の耐震診断結果を受けて、空調設備の改修などを含む設計を行います。市民会館、中央公民館、勤労青少年ホームは一体として新たに耐震診断を実施します。

また、26年度に防災行政無線の難聴地域の解消に向けた改修工事を実施しましたが、最近の住宅は密閉性が高く、全てを解消することは困難であることから、その補完手段として、テレビ埼玉のデータ放送と蔵ケーブルビジョンを活用した新たな情報発信システムを導入します。併せて、小・中学校においては、学校の放送設備と連動した緊急地震速報システムを導入し、児童生徒の迅速で安全な避難行動につなげていきます。

更に、集中豪雨などのときに市民が自由に土のうを持ち出せ

る土のうステーションを公園など、市内7か所に設置するほか、消防職・団員のOBを中心に、大規模災害時における消火や救助活動の後方支援を行う消防災害支援隊を創設します。

この他、道路の安全性の確保と環境保全に向け、市が管理する、設置後20年を経過した道路照明灯や道路標識の総点検を実施します。

交通安全対策関連では、昨年12月に施行された蕨市自転車安全利用条例に基づく新たな施策として、自転車を利用する子どもやお年寄りを対象に、購入価格の2分の1以内で2000円を限度に補助する、自転車用ヘルメット購入費補助制度を創設します。

防犯対策では、引き続き、LEDによる防犯灯100基を整備するほか、自転車盗難等の被害防止に効果がある蕨駅周辺の夜間パトロールの拡充を図ります。

この他、ふるさと応援寄附を活用して、高規格救急車を1台更新し、救急業務の拡充を図ってまいります。

豊かな個性を育み

子どもたちの

未来輝くまち

2点目の「豊かな個性を育み子どもたちの未来輝くまち」で



豊かな心と体を育成する充実した施策を展開します

は、待機児童の解消に向けて、27年度には、民間認可保育園が3園開園します。一つ目は塚越7丁目の市有地を貸し付け、誘致した「けやきの森保育園蕨園」で、定員は110名です。もう一つは、北町1丁目に開設する「ニチキッズわらび保育園」で、定員は66名です。いずれの保育園も4月の開園となります。

更に北町地区においては、今年の秋に、現在建設中のマンション1階に、定員40名の「(仮称)メリーポピンズ蕨北町ルーム」が開園する予定です。

また、留守家庭児童指導室の対象を小学4年生から6年生までに拡大するとともに、中央小と東小の一時的余裕教室を活用し、2施設を増設します。27年度早々に整備を始め、夏休みには開設する予定です。

教育では、これまで、小学校6年生までの35人程度学級や全小学校でのわらび学校土曜塾など、行き届いた教育に向けた条件整備を進めるとともに、学校、家庭、地域の連携により、学力面でも、体力面でも、すばらしい成果を上げてきました。27年度は、こうした施策を継続しつつ、新しく設置する総合教育会議を通じて、教育委員会との連携をさらに深めつつ、いじめのない明るい学校づくりやアウトメディアの取り組みをはじめ、子どもたちの心身ともに豊かな育成を進めてまいります。

この他、蕨市が全国に誇れる成年式が第70回を迎えることから、それを記念した式典を開催します。

みんなにあなたかく

健康に生活できるまち

3点目の「みんなにあなたかく健康に生活できるまち」では、4月に、市有地を活用して整備を進めてきた障害者グループホーム「紙ふうせん」が開設します。先行行われた落成式では、入所予定のかたがた、その親御さんの笑顔がたいへん印象的でしたが、この施設にはショートステイ2室が併設され、7月にスタートする予定です。同じく4月には、市内3か所目となる



特別養護老人ホーム「いきいきタウン蕨」(南町2丁目)

特別養護老人ホーム「いきいきタウン蕨」が南町2丁目に開設されます。これに合わせて、同施設内に市内2か所目となる地域包括支援センターを設置し、認知症対策や介護予防などの施策を推進していきます。また、緊急時や災害時などに、障害のあるかたがたが周囲の人々から適切に援助が受けられるよう、援助してほしいことや緊急連絡先などを記載するヘルプカードの配布事業を行います。

健康づくりでは、引き続き、健康アップサポーターの養成を進めるとともに、がん検診の受診率向上に向けて、胃がん検診を集団検診から、医療機関での個別検診に切り替えます。更に、4月1日から施行される「蕨市歯科口腔の健康づくり推進条例」に基づく新たな施策として、

新成人を対象に、歯周疾患検診やレントゲン撮影などを内容とする歯科疾患予防推進事業を実施します。

生活困窮者の自立に関する取り組みでは、相談窓口を総合社会福祉センター内に設置するほか、生活困窮家庭の子どもへの学習支援や失業者等が住居を確保できるよう、家賃相当額を一定期間給付する制度を創設します。

この他、27年度から、非婚のひとり親家庭に対して寡婦(夫)控除のみなし適用を行い、保育料等を軽減する措置を導入いたします。

にぎわいと活力、

市民文化と歴史が

とけあう元気なまち

4点目の「にぎわいと活力、市民文化と歴史がとけあう元気なまち」では、今月6日、内閣府に中心市街地活性化基本計画の申請を行ったところですが、27年度は、同計画の内容を市民の皆さんに広く知っていただくためのパンフレットの作成や、中心市街地整備推進機構がタウンマネージャーを招へいするための費用補助をはじめ、蕨駅東口コミュニティ・ショッピング道路の整備に向けた設計を行います。蕨駅西口地区市街地再開発については、昨年12月に権利者な



懇談会の提言を踏まえ、音楽によるまちづくりを推進

どで組織された準備組合が設立され、新たな段階に入ったところでありますが、蕨市では、市の負担を抑制しつつ、蕨の玄関口として、周辺商店への回遊性を併せ持ったにぎわい創出の拠点となるような計画づくりが推進されるよう、組合を支援していきたいと考えています。

昨年6月に成立した「小規模企業振興基本法」に基づき、国が策定した基本計画を踏まえ、市は「創業支援事業計画」を策定し、蕨商工会議所が策定を進めている「経営発達支援計画」と併せて推進することにより、地域経済にとって重要な存在である小規模企業の振興を図ってまいります。

また、蕨ブランドの創出では、中仙道蕨宿や双子織など、蕨にある数多くの地域資源を活用し、



市内の桜の名所の一つである南町桜並木

快適で過ごしやすく

環境にやさしいまち

蕨の魅力在市内外に発信していくため、蕨ブランドの対象や基準などの制度設計を行っていくほか、わらびりんごについては、昨年、試飲会など市民を交えた開発を進めてきた「わらびりんごサイダー」を製造し、本年8月の機まつりで販売する予定です。音楽によるまちづくりでは、懇談会の提言を踏まえて、蕨市音楽家協会と連携しての新たなイベントや子ども大学の開催、音楽のまち蕨の魅力を市の内外に情報発信するための情報紙の作成などに取り組んでまいります。

5点目の「快適で過ごしやすく環境にやさしいまち」では、中央第一地区のまちづくりについて、道路拡幅や隅切りのため

の後退用地にかかる建物の解体費に対する補助や後退用地の購入、広場の整備など、国の交付金も活用しながら事業の進捗を図ってまいります。

錦町土地区画整理事業については、一般会計からの繰入金とともに、国の交付金や市債などを活用し、特別会計予算は、26年度と比べて1億4200万円増、過去最高となる14億9100万円となり、家屋移転25棟を予定するほか、街路築造や仮設住宅3棟の整備を進めてまいります。

そのほか、南町の桜並木については、26年度に引き続き、老木化した桜の樹勢回復のために剪定や施肥などを実施していきます。

一人ひとりの心でつなぐ 笑顔あふれるまち

6点目の「一人ひとりの心でつなぐ笑顔あふれるまち」では、市民との協働のまちづくりの更なる推進に向け、新たに協働推進月間を創設します。推進月間は8月を予定し、期間中、協働提案事業の報告会や市民活動フォーラムを開催するほか、蕨市独自の協働のシンボルマークやキャッチフレーズを公募によって制定し、協働のまちづくりをいっそう浸透させていきたいと

考えています。

また、協働事業提案制度では、子育て情報の発信をテーマとした「楽しく子育て笑ってフェスタ2015」やにぎわい創出に向けた「わらてつまつり」の開催、更には、大荒田交通公園のシンボルとなっているSLの整備、中学3年生を対象としたデートDVDに関する講演会など、さまざまな分野での協働事業を推進します。

配偶者や交際相手からの暴力、いわゆるDVに対応するため、市役所1階の市民活動推進室内に「配偶者暴力相談支援センター」を設置し、女性相談員を配置し、被害者からの相談をはじめ、情報提供や安全確保などの支援を行ってまいります。

国際交流では、蕨市とエルドラドが姉妹都市を締結して今年で40周年を迎えることから、11月に、エルドラドの皆さんをお

全国に誇れる「コンパクトシティ蕨」へ全力

ところで、3月29日に、文化ホールくるるにおいて、「暁斎と鹿鳴館を建てたコンドル」国境を越えた師弟愛」が開催されます。ジョサイア・コンドルは、イギリス人の建築家で、明治時代に、日本の近代化に向けて政



国境を越えた友情を育む国際青少年キャンプ

迎えして記念式典を開催するなど、記念事業を実施いたします。また、国際青少年キャンプについては、昨年、蕨で開催し、友好都市であるリンデン市と交流のあるドイツ・マッヘルン市からも青少年が参加しましたが、今年は、そのマッヘルン市での開催となり、蕨の青少年がリンデンの青少年とともに参加いたします。

府が海外の技術を取り入れるお雇い外国人として来日し、鹿鳴館を造るなど、日本の近代建築の基礎を作りました。コンドルは、日本で生活するなかで、河鍋暁斎の絵にみせられ、暁斎に弟子入りし、日本画を学ぶなど、

晩斎と日本文化への愛着を深めていきました。そして、コンドルが晩斎の絵を海外に広めてくれたことで、今日、海外では、晩斎が、葛飾北斎かつしかほくさいなどと並ぶ絵師として高い評価を受けるようになりました。このことは、河鍋晩斎記念美術館がある蕨市にとって大きな誇りであります。

ここで、あらためて感じるのは、人と人の出会いのたいせつさであり、愛着は行動を起こすための原動力であるということです。これは、まちづくりにおいても同様です。これまで、市長として、市政運営に当たるなかで、多くのかたがたとの出会いがあり、また、この間、市民の皆さんが、蕨への愛着を深め、自分も蕨のまちのために何かしようという機運が年々高まっていることを実感しています。



河鍋晩斎記念美術館(南町4丁目)

日本を代表する脚本家の一人である池端俊策いけはたしゅんさくさんは、現在、2回目となる演劇講座を開催してくれており、PR大使や『広報蕨』でも、蕨市出身の著名人のかたがたが協力してくれています。わらびりんごのまちづくりや音楽のまちづくりでも、地域の皆さん、音楽家の皆さんが大きな力を発揮してくれています。もちろん、町会を中心に、防災防犯、ごみ環境問題など、まちづくりに積極的に参加してくれています。これらは、ほんの一例ではありますが、こうした市民力の高さこそ、蕨の誇りであり、強みであり、市政発展の最大の原動力であります。私は、市長として、そうした市民の皆さんの力を結集し、全国に誇れる、日本一住みやすいコンパクトシティ蕨の実現に全力を尽くす決意です。

市議会をはじめ市民の皆さんには、我がまち蕨の限らない発展に向けて、なおいっそうの努力添えをお寄せいただきますよう、心からお願い申し上げます。平成27年度の施政方針表明といたします。ありがとうございます。

※表記その他に若干の変更がありますので、ご了承ください。
発行／蕨市役所
編集／秘書広報課広報広聴係

◎今議会で 可決された 議案

平成27年第1回蕨市議会定例会に市長から提出され、可決された議案は36件です。ここでは、その議案名をご紹介します。

議 案 名

●新規条例

- ・蕨市特定教育・保育施設及び特定地域型保育事業の保育料に関する条例
- ・蕨市指定介護予防支援等の事業の人員及び運営並びに指定介護予防支援等に係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例
- ・蕨市地域包括支援センターの職員に係る基準等を定める条例

●一部を改正する条例

- ・蕨市行政手続条例の一部を改正する条例
- ・職員の給与に関する条例の一部を改正する条例
- ・蕨市職員退職手当条例の一部を改正する条例
- ・蕨市手数料条例の一部を改正する条例

- ・蕨市国民健康保険税条例の一部を改正する条例
- ・蕨市留守家庭児童保育条例の一部を改正する条例
- ・蕨市保育園設置及び管理条例の一部を改正する条例
- ・蕨市介護保険条例の一部を改正する条例

- ・蕨市指定地域密着型サービスの事業の人員、設備及び運営に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・蕨市指定地域密着型介護予防サービスの事業の人員、設備及び運営並びに指定地域密着型介護予防サービスに係る介護予防のための効果的な支援の方法に関する基準を定める条例の一部を改正する条例
- ・蕨市立児童館設置及び管理条例の一部を改正する条例
- ・蕨市中高層建築物の建築に係る事前公開及び紛争の調整に関する条例の一部を改正する条例

●平成26年度補正予算

- ・平成26年度蕨市一般会計補正予算(第5号)
- ・平成26年度蕨市一般会計補正予算(第6号)
- ・平成26年度蕨市国民健康保険特別会計補正予算(第3号)
- ・平成26年度蕨市公共下水道事業特別会計補正予算(第1号)
- ・平成26年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計補正予算(第1号)

- ・平成26年度蕨市介護保険特別会計補正予算(第2号)
- ・平成26年度蕨市後期高齢者医療特別会計補正予算(第1号)
- ・平成26年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計補正予算(第2号)
- ・平成26年度蕨市立病院事業会計補正予算(第1号)

●平成27年度当初予算

- ・平成27年度蕨市一般会計予算
- ・平成27年度蕨市国民健康保険特別会計予算
- ・平成27年度蕨市公共下水道事業特別会計予算
- ・平成27年度蕨都市計画事業錦町土地区画整理事業特別会計予算
- ・平成27年度蕨市介護保険特別会計予算
- ・平成27年度蕨市後期高齢者医療特別会計予算
- ・平成27年度蕨市公共用地先行取得事業特別会計予算
- ・平成27年度蕨市立病院事業会計予算
- ・平成27年度蕨市水道事業会計予算

●人事案

- ・人権擁護委員候補者の推薦について
- ・人権擁護委員候補者の推薦について

●その他

- ・市道路線の認定について